

## 公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお港区店			
○保護者評価実施期間	令和7年2月4日 ~ 令和7年3月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和7年2月4日 ~ 明治33年1月3日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月11日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちに寄り添った支援が出来ている。また保護者とコミュニケーションが取れており、お子さまのことについて、情報共有している。	子どもたちの特性・状態をしっかり観察し、支援内容にフィードバックをするようにしています。また朝礼で子どもたちの変化や状況を気づいたことを職員間で伝えることで情報共有しています。	個別支援計画に基づき、子どもたちにとって何が一番良い支援かを考えながら職員で話し合いを進めてまいります。
2	子どもたちが安心しながら楽しく通所している。（児童・保護者の満足度が高い。）	専門的療育だけだと子どもたちがつまらなくなったりするため、専門的療育は短時間かつ集中的に取り組み、他の時間は集団で取り組める活動などを行っています。	子どもたちの特性を理解し、必要な療育を提供してまいります。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）がいない。	専門職による視点で、違った方向から子どもたちの課題を抽出することにより良い支援を行ことができる。	引き続き専門職の配置ができるよう求人活動をすすめてまいります。
2			
3			